

事務所通信 リソース

10月号 VOL. 40

税理士法人 中央総合会計

〒070-0037

旭川市7条通13丁目 59 番地 4

TEL : 0166-25-4131 0166-23-0010

FAX : 0166-25-4132 0166-23-7543

URL : <http://csk-i.com/>

E-mail : cyuou@csk-i.com



いつもお世話になります。

10月25日はアニメ『ドラえもん』のしずかちゃんがのび太くんと婚約した日。その後、2人は結婚するのですが、実は迷っていたしずかちゃんの背中を押したのはお父さんの一言でした。「彼は他人の幸せを願い、他人の不幸を悲しむことのできる人だ」。誰かが見てくれているものですね。

【国の借金を使い道を見つめよう！】

今年の五月十五日に、国の平成二十五年年度一般会計予算が決まりました。その総額は92.6兆円。歳出では、社会保障関係費「国債費」地方交付税交付金の三項目で全体の70%を超えています。その中でも最も多いのは、医療、年金、福祉、介護、生活保護などの公的サービス費用である社会保障関係費で、29.1兆円と全体の31.4%になります。また、国債費は利払費等が9.9兆円、債務償還費が12.3兆円で合計22.2兆円と全体の24%を占めています。

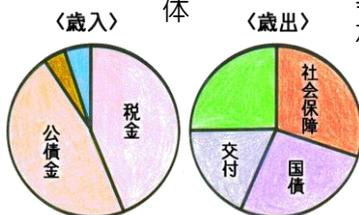
都道府県や市町村などの地方公共団体

間の財政の均衡化を図り、一定の行政サービスの水準を維持できるように、

国が国税として徴収し再配分する地方

交付税交付金は16.4兆円で全体の17.7%になります。その他では、文教及び科学振興「5.4兆円」、公共事業「5.3兆円」、防衛「4.8兆円」となっています。一方の歳入ですが、国債の発行によって作られる「公債金」が42.8兆円と全体の46.3%を占める状況です。税收でまかなわれているのは、全体の半分にも満たない43.1兆円になります。その内訳は、所得税が一番多く13.9兆円、次に消費税の10.6兆円、そして法人税が8.7兆円、その他「相続税」「酒税」「たばこ税」などで9.8兆円となります。

わが国は現在このような状況のため、国債に依存する財政を改善することが大きな課題となっています。



【流通総価値が10億ドルを超える『ビットコイン』】

インターネット上の仮想通貨『ビットコイン』は2009年に誕生し、現在の流通総価値は10億ドルを超えているそうです。

国際送金や為替の手数料が格安で、ネット通販などでの利用者数も増えています。

また、他の電子マネーとは異なり無国籍のため、どの流通貨幣とも連動せず政府や金融機関を通しません。

マネーロンダリングの使用や相場の急変動などリスクは多く議論を呼んでいます、インターネット上の新たなマネーとして君臨する日も近いかもしれませんね。



【今月の教えてキーワード：GNI（国民総所得）】



日本企業や国民が国内外で稼いだ所得の合計(ＧＮＩ)。平成二十四年度の日本のＧＮＩは約４９０兆円、国民一人当たり約３８４万円だった。

先ごろ政府が発表した日本経済再生に向けての成長戦略では、国民一人当たりのＧＮＩを十年後までに１５０万円以上増やす目標が盛り込まれた。経済指標としてよく用いられるＧＤＰ（国内総生産）は国内のみで生み出した付加価値の合計を言い、これに海外で得た所得を加えるとＧＮＩとなる。

誰が生き残る？

「経営にとって、一番大切なことは何でしょうか」とよく聞かれることがあります。

「一番強い者が生き残るのではない。又、一番賢い者が生き残るでもない。環境に適応した者のみが生き残ることができるのだ」と、ダーウィンが言ったといわれています。つまり、環境に適応することが大切なのではないでしょうか、と答える事が多いです。(実はその時々で、経営にとって一番大切なことの答えは変わりますが。念のため。)

さて、企業にとっては、景気の良し悪し・立地条件・得意先の状況等が重要な環境ですが、その中で一番の環境条件は、何だと思いませんか？

私は、自社で働く従業員でないかと思っています。よく「先生(私のことです)、当社の従業員は誰もかれも気がきかなくて、給料分は働いていても、賞与は全部私が稼いでいるようなものですよ。誰か良い人いませんか。」などとおっしゃる社長さんがいます。これなど、私は従業員という環境に対応できていないダメな社長です！と宣言しているようなものではないでしょうか。そもそも多くの場合、社長さん自身が採用しているのですから、自分のつくった環境に自分が不満を言っているわけです。それでは、皆さんは環境に適応するためにはどうしたら良いと考えますか？

私は、自分の環境を肯定することだと思っています。この環境は変えようがない。この環境が良いのだと思った時にはじめて、それに適応するようになれることができるのだと思います。そこから逃げようと思った瞬間に、変わる力が無くなってしまいます。

たとえば、自分の住んでいる地域が良いと思えなければ、何か少しでも悪いことがあるとすぐ出ていくこととなります。この地域が自分が住む場所だ、この地域が良いのだと思った時に、どんな事が起きようとその地域に対応するよう、変わることができるのだと思います。まず、自分の会社の環境を肯定し、その環境に適応しようとする経営者(従業員)だけが、生き残ることができるのではないのでしょうか。

今から、従業員・部下(社長・上司)を肯定してみてもいかがでしょうか。

来月 11 月 5 日、『知っておきたいセミナー』を開催いたします。テーマは「**お金をかけずに集客する方法**」「**生き残る企業の条件**」です。環境に適応する、きっかけになればと考えておりますので、多くの方の参加をお待ちしています。



中央総合会計 代表税理士 井内 敏樹